

平成27年10月16日

各部局等の長 殿

安全衛生管理部長

八木 康史

コンセント等の一斉点検の実施について（通知）

安全衛生管理部では、トラッキング火災の防止、テーブルタップ等のたこ足配線、過電流等に伴う電気コードの過熱等について、巡視点検の際に、随時指導を行っているところですが、本学では事故防止、意識啓発のため毎年1回、各部局構成員による一斉点検・清掃の実施をお願いしています。

今年度につきましては、別紙のとおり計画いたしましたので、貴部局構成員に遺漏のないよう周知のうえ、適切に実施いただきますようお願いいたします。

コンセント等の一斉点検について

【目的】

電気による事故は休日や夜間を問わず発生する可能性があるため、事故防止には日常の点検が非常に重要です。

そこで、大阪大学安全衛生強化月間（10月）の一環として、学内を安全で安心な環境に維持することを目的に、壁面コンセントに接続している電気プラグ・延長コードなどの一斉点検を実施します。

【点検対象建物】

各事業場の全施設（但し学生寮、宿舎、宿泊施設などを除く）

【点検対象個所】

研究室、実験室、事務室、居室等にある壁面コンセントから各電気機器に至る電気配線部分（研究室で分電盤から独自に電気配線を取り出している場合は、その配線部分も含む）

【点検実施者】

研究室・事務室等に所属している構成員（教職員・学生など）

【点検実施期間】

10月19日（月）～10月23日（金）

【点検事項】

- （1）コンセント、プラグ、延長コード等の目視による確認
- （2）コンセントに接続されている電気容量（ワット数）の確認
- （3）コンセント、プラグ及び延長コード等の温度を確認

※詳細については次ページ以降の「コンセント等の点検方法」を参照して下さい。

【点検結果の報告方法】

点検結果は各部屋に掲示している安全衛生管理チェックシートの連絡欄に記入して下さい。チェックシート対象外の部屋（教授室等）については、周辺の研究室等にある別のチェックシートに記入して下さい。

※記入例：

連絡欄	
月日	部屋（記入者）側
10/20	コンセント点検：電気容量超過（1ヶ所）→分散化
10/21	向かいの教授室（A1-101） コンセント点検：異常なし 延長コード点検：異常なし
10/23	隣のサーバー室（A1-104） コンセント点検：プラグにホコリ（3ヶ所）→清掃

コンセント等の点検方法

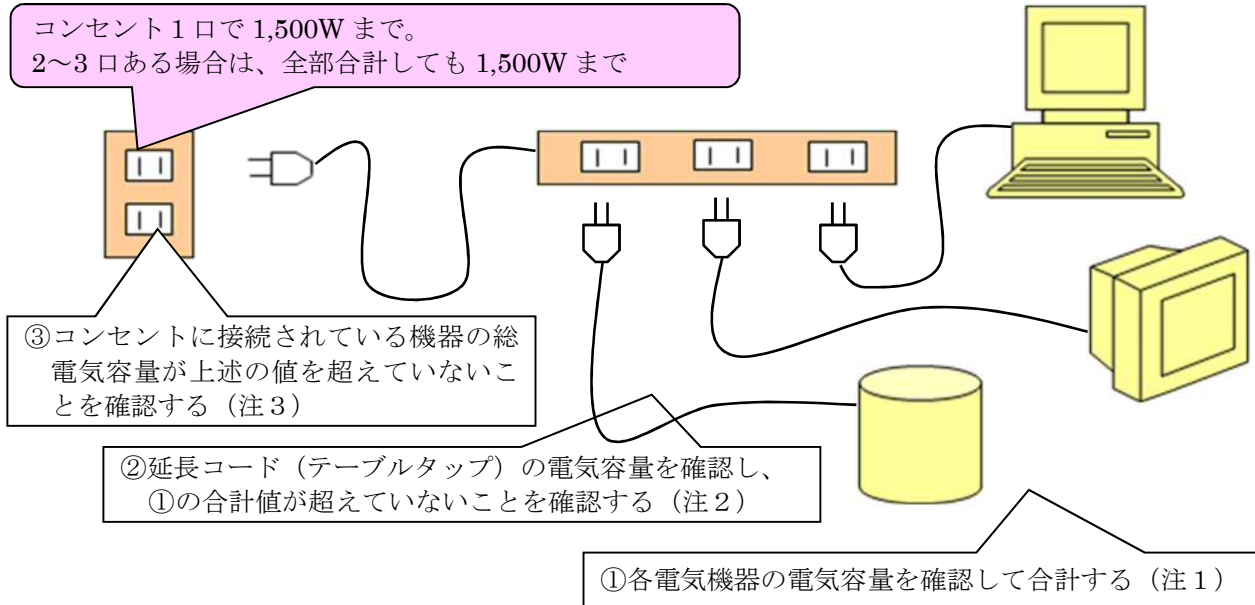
(1) コンセント、プラグ等及びコードの目視による確認

- ・壁面コンセント、延長コード（プラグ部分、コード部分、差込口部分）、電気機器からのコード及びプラグを目視で確認し、差込不良、破損、ゆるみ等が無いか確認して下さい。部品に破損、ゆるみがある場合は、速やかに修理や交換をして下さい。また、焦げつきがある場合は、直ちに接続されている機器の電源を切り、使用を中止して下さい。
- ・プラグや差込口部分にホコリが溜まっていたり、著しく汚れている場合は、電気機器の電源を切り、プラグを抜いて乾いた布等で清掃を行って下さい。（プラグを挿したまま、濡れ雑巾等でプラグや差込口部分を清掃するのは危険です）実験の都合などで機器の電源を切ることができない場合は、掃除機でホコリを吸い取るなどの応急措置をし、次の停電時あるいは大掃除の際にきちんと清掃して下さい。
- ・3P（アース付）コンセントに2Pアース線付プラグを接続する場合は、2P→3P変換アダプターを使用し、接続してください。
- ・可能ならば、接続されている電気機器の電源を切り、全てのプラグの抜き差しを行い、不具合（ゆるみ、電極の破損、異物の挟み込みなど）がないか確認して下さい。
- ・電気コードについては次の点について確認して下さい。
 - コードを金具等で固定していないか、釘等に引っ掛けていないか
 - コードが棚や机など、重い物の下敷きになっていないか、また歩行時に踏まれていないか
 - コードに傷、へこみ、ひび割れがないか
 - コードを束ねたまま使用していないか、折れや急な曲がりはないか
 - コードの被覆が傷んでいないか
 - 触ってみてコードが硬化していないか

学内での事例



(2) コンセントへの接続電気容量 (W ; ワット数) の確認



注1) 2種類以上の電気機器があって同時使用しない (例えば、電子レンジとトースターは同時に使わない、等の独自ルールがある) 場合は、電気容量が大きい方で計算して下さい。ただし、この場合、必ず、誰にでも分かるような同時使用禁止の掲示がされているかも確認して下さい。

例 電子レンジとトースターを同時に使ってはいけません！
Don't use the microwave and the toaster at the same time!

注2) 例えば、延長コードに12Aまでと記載がある場合は $100V \times 12A = 1,200W$ までになります。

注3) 特殊用途向け壁面コンセント (例えば、エアコン用の20Aまで供給可能な壁面コンセント) などの場合は、それぞれの電気容量で確認を行って下さい。

※ 確認した結果、電気容量を超えている場合は、他の壁面コンセントを利用するなど接続する電気機器の分散化を図って下さい。

・電気機器の消費電力をプラグに機器名や消費電力を記載して貼り付けておくと、接続電気容量の計算、確認が簡単にできます。

例



・水気や湿気の多い場所や、屋外で使用する電気機器には、アース線を取り付けることが法令で定められています。アース線は、アース端子に確実に取り付けてください。アース線を取り付けていないと、万一の故障や漏電の時に感電するおそれがあります。

(3) コンセント、プラグ及びコードの温度による確認

手のひらを近づけて温度を確認し、温度があまり高くないようであれば触れて確認して下さい。手で触れないような高温 (おおむね $50 \sim 60^{\circ}\text{C}$ 以上) になっているときは、接続している電気機器に異常がないか調べて下さい。



【参 考】

一般的に使用されている電気機器(1系統のコンセントの許容電力量は機器の消費電力合算で1500V

電気機器	写 真	消費電力 (メーカー、機種 により差異)	備 考	電気機器	写 真	消費電力 (メーカー、機種 により差異)	備 考
デスクトップ コンピュータ		約100W	機種により消費電力 が大きいタイプもあり ます。	電子レンジ		約800～1300W	機種・使用用途に より消費電力が変 わります。(例:レン ジ使用時は800 W、オープン使用 時は1300W)
ノートパソコン		約30W		電気ポット		約900～1000W	ポットの容量により 消費電力が変わり ます。
卓上型 レーザープリン		約1200W	コンピューターとセッ トで使用するため注 意が必要です。	コーヒーマーカー		約900～1000W	機能の差により消 費電力が変わりま す。
インクジェット プリンター		約30W	機種により消費電力 が大きいタイプもあり ます。	カフェマシン		1430～1460W	直接コンセントに接 続して下さい。